

## 千葉県議会議員

# ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

Eメール [masao.fujishiro@zc.wakwak.com](mailto:masao.fujishiro@zc.wakwak.com)

政務調査報告ニュース 2013年5月号

TEL & FAX 047-445-9144

ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

## すべての国会議員が発議した『支援法』を全く無視



### 安倍政権の『施策パッケージ』

千葉・茨城・埼玉の若いお母さんを中心にした“放射能から子どもを守ろう関東ネット”が復興庁・環境省の職員との交渉の場をもちました。

最初に要望書を提出。①「原発事故子ども被災者支援法」



の支援対象地域に1mSv/年を超えた地域及び“汚染状況重度調査地域”に

指定された地域を含めること②子ども、妊婦の健康管理調査等を実施すること③“パッケージ”“基本方針”策定前に国民の意見を必ず聞くこと、を要求しました。

安倍政権（復興庁）は3/15に「被災者支援施策パッケージ」を出しましたが福島県以外は全く無視した形。政府に対し支援対象地域に東葛ホットスポットなどが入らなければ「支援法」の趣旨が実現できないのではと問うても、「有識者会議で必要ないと結論づけているので」と言うばかり。しかし、千葉県では9市の市長が復興庁に住民と同じ要望を出しているし、有識者会議などは開かれていないのです！

施策パッケージと基本方針との関係をお問えば「基本方針を決められないのでパッケージをつくって網羅的に盛り込んだ」と言う。ならば法律で規定している国民の声をどこで聞いたか？と問えば「パッケージは基本方針でないの

でやる必要はない」と。全く国民をばかにした答弁に終始していました。

取手市にはっきりと出ている心電図異常（小・中・大）については「放射能の影響とは認められないのが国際的認識」とつれない返事。

更に「WHOでは、小児甲状腺がんのリスクはある程度高い線量のところで一定のリスクがある。近隣県では低線量なのでリスクはないと言っている」と福島県以外は無視していいと言わんばかり。

チェルノブイリ事故以降、「低線量でも免疫をはじめいろいろな健康疾患に影響がある」と認識されていることについては全く無視です。“予防原則”への理解がありません。

原発事故そのものがなかったかの如く忘れさせようとしている政府、一部マスコミ、原子力村の動きは強力なものがあります。

しかし、レベル7の原発事故が起こったのは事実。健康調査・診断を今すぐ始めなければ日本の未来は“不安”のままです。

\*「署名活動」へのご協力をお願いします

## 職員の退職金の引き下げ&給与7.8%引き下げ

県職員の退職手当も下げられ 3/1 から施行。更に7月から給与を7.8%カットせよと国は地方自治体に対し要請。地財計画で9000億円、地方交付税で3921億円の減額と財源をカットし地方に議論させぬ政府の姿勢は自治の否定です。千葉県職員の給与カットは約200億円。

## 児童虐待と子どもの貧困



「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク世話人山野良一さんのお話を聞く機会がありました。

山野さんは“児童虐待”を考える時、その発生原因だけでなく保護された後も貧困が子どものその後の発達に大きくかかわってくると「子どもの貧困」の問題を提起しました。児童虐待のおこなわれた家庭の状況は、ひとり親家庭が 31.8%、経済困難が 30.8%、親族・近隣からの孤立が 23.6%です。そして一時保護児童の母親の学歴は 51%が中学卒 40%が高卒という数字の中に、貧困の世代間連鎖＝虐待の世代間連鎖を指摘しました。

日本の子どもの貧困の特徴についても語りました。①継続的に貧困率が上昇(少子化で3年間で子どもは54万人減少しているのに貧困の子どもは23万人も増加。貧困率15.7%)②ふたり親の世帯に比してひとり親世帯の貧困率の高さ③母子世帯の52.7%は非正規労働④働いているひとり親の方が働いていないひとり親より貧困率が高い⑤政府の所得再分配後の方が子どもの貧困率が上昇してしまう。と女性差別の社会と政府の貧困対策のなさを明らかにしました。

また、日本の国公立大学生は25%の学生が奨学金(貸付)をうけ400数十万円の授業料を払っているが、世界の潮流は授業料0で大学教育を受けられる状況を説明。同時に生活保護母子世帯の母の学歴は低学歴率57.5%である状況などから教育格差の実態にせまりました。

最後に山野さんは“子どもを個として認める視点”と“社会全体で子どもを育てる観点”の必要性を訴えました。

「子ども貧困対策法」制定の動きが国会内にあります。



## 通学路交通安全対策



昨年夏、全県下において県の道路管理者・県警・市と住民とで通学路の安全対策として現地調査がおこなわれました。その結果鎌ヶ谷市では、鎌ヶ谷小学校通学路である県道千葉・鎌ヶ谷・松戸線の歩道部分のカラー舗装による対策がとられることになりました。(県2月補正で県下59か所実施)



カラー舗装による対策がとられることになりました。(県2月補正で県下59か所実施)

## 栗野地区公園は自然をのこして…

平成26年3月までの一部開園を目指して栗野の森のあり様が議論されてきました。先般第4回目の会議で大枠が決定。

- ① 園路は現状のけもの道で(舗装したり拡幅しない)
- ② 駐車場は栗野コミセン側に十数台分(できる限り緑地をつぶさない)
- ③ トイレは栗野コミセンのトイレを使う
- ④ 園路の柵、門扉をどのようなものにするかは今後検討します。木製か偽木か?
- ⑤ 維持管理は「栗野の森の会」を中心にした、市民の方々をお願いしたい。



二期目の低湿地帯はまだ先ですが、まずは栗野の森の部分が開園されます。自然と人との共生を十二分に楽しみたいものです。

### \*\*\*\*\* お知らせ \*\*\*\*\*

★『六ヶ所村ラブソディー』上映会

5/18(土) 10:30～ 中央公民館 500円

★市民自治 安全な社会づくりと事故調査

6/9(日) 14:00～ 中央学院大学 500円

★いじめは道德教育でなくせるの?

6/22(土)13:30～ きぼーる13階 500円

★法律弁護士無料相談 ふじしろ県議まで

5/25(土) 6/29(土) 7/27(土) 13:00～

千葉県議会 6月定例会 予定

・開会 6/5～閉会 7/2

・常任委員会 6/24～6/27

・代表質疑、一般質問 6/11～6/18

・予算委員会 6/20、21 ふじしろ政夫が予算委員で質疑します